

春です！ ゴミのない快適な生活を

春先は、冬のあいだ雪などといっしょに捨てられたゴミや炭ガラなどが、あちこちにちらばっていて風の強い日などそのゴミが飛び散り醜いものです。

市では毎日、5台のゴミ収集車をフル回転して処理にあたっていますが、最近、小さな袋に入れたゴミをたくさん出されているのが目につきます。衛生課では作業のしやすいように、なるべくゴミは大きな袋に入れて出すよう呼びかけていますが、あわせて附近に散在しているゴミも集め、快適な生活をするようにしましょう。

改選期のため骨格予算

市長の予算編成方針（概要）

四十六年第一回の定例市議会に上程しました、ことしの各会計予算案は、ご承知のとおり四月に市長および市議会議員の改選期にあたっておりますので、いわゆる骨格予算をもって編成しました。

その基本となります方針として歳出の面ではつぎのようになります。

- ・経費の集約化、合理化によって経費の節減効率化をはかる。
- ・経常事業については、橋、道路、学校、公営住宅などの維持修繕をはかる。
- ・継続事業については、失業対策事業、若草小増築、河川災害復旧事業など当初から実施を必要とする事業にとどめた。
- ・団体などへの各種負担金、補助金、交付金については、経常的

義務的なものだけにとどめた。ことしは特に市民にみじかな、公民館、生活館など各施設の机イスの整備をはかる。

つぎに歳入については、次期の補正予算において新規事業と継続事業にあてる歳入は計上しておりませんが、予想される確実な財源はすべて計上しました。

また、住民負担軽減のため、公共料金の据置、固定資産税率の引下げを実施することとしたのであり、とくに固定資産税率を 1.00% の 0.95% （引下げ 0.05% ）の 1.00% の税率にしました。

つぎに予算計上のおもなものを説明します。

民生、衛生関係では、身体障害者、老人にたいする巡回医療相談、家庭奉仕員による介護、敬老年金

児童手当の支給、生保世帯の水道施設費全額補助、また予防接種を円滑にするため自動注射器の購入さらに町内会にたいして街路灯、児童遊園地設置などの補助金を計上した。

商工労働関係では、失対事業と勤労者のため生活住宅の資金融資積立金と中小企業者にたいする融資積立金を計上した。

農林水産関係では海岸緑化保全事業と家畜往診制度の確立のための費用、漁業協同組合のサケ、マス、マグロ漁船建造にたいする貸付金などを計上した。

過去、四年間をふりかえる

私の任期、四年間の市政をかえりみますと、就任いらい、その政策理念をいたしました住民意思の尊重を柱として、明るい豊かな住みよい生活都市、登別建設のため全力を傾注してきました。

この間、私は、

- ・道路、排水など住民の生活に直結した事業の推進。
- ・教育、スポーツの振興とPTAの公費負担を軽減。
- ・観光、商工、水産、農林業の興隆と市民経済の安定。
- ・生活保護者、母子家庭、身体障害者、老人などの社会福祉の徹底。
- ・火災、水害、交通災害の追放。
- ・五大政策を樹立し、これらの政策を具体的に実現するため、各界住民の参加によって登別総合開発計画を策定し推進してきました。

土木建設関係では、市道、橋、公営住宅の補修と児童公園遊具施設費などを計上した。

教育関係では、若草小増築と社会教育活動に必要なビデオテープレコーダーの購入費などを計上した。

このような方針で編成した予算は、一般会計十三億五千七百万円特別会計、二億六千六百九十九万四千円、水道事業会計、一億四千九百七十一万九千九百円、総額十七億七千三百七十一万三千円となります。

この政策のおもなものをひろってみますと、道路舗装五カ年計画による道路の舗装化、私道の公道化につとめるとともに、防災排水整備五カ年計画をたて、全国にもその例をみないといわれた起債を獲得し、排水整備を強力におこなった。また各地区の水道施設の拡張工事を進め、公住、児童公園の建設と四十四年から一般家庭のゴミ手数料の無料化にふみきった。

教育面では、集中暖房などを完備した幌別東小、若草小のモデル校を新設、青少年の健全化、スポーツの振興を目的とした青少年会館の建設、郷別、登別の両中学校にプールの建設など教育施設の整備に力をこめて、とくに全道にさきがけてPTAの公費負担軽減をお

こなした。さらに胆振管内で初の第三種公認陸上競技場を建設し、各種の大会を開催した。

観光、商工では専門委員の答申によって登別温泉地区総合開発計画を策定するとともに、商工業者勤労者が多年、望んでいた商工労働会館を建設した。

水産については登別漁港を白老町との協力によって完成を見た。市民経済の安定では住民負担の軽減のため各公共料金の据置、固定資産税の引下げを積極的におこなった。また市制施行とともに福祉事務所を発足し、これにより保護、援護の措置を市が直接、手厚くきめこまかにおこなうことが実現した。

交通、火災については交通安全セットカーによる交通安全指導の強化をはかり、安全施設の整備に力を入れるとともに、消防体制の強化につとめ、消防署員の増員、化学消防車の購入など消防力の充実をはかった。

とくに昨年は住民が念願しておりました登別市が誕生し、未来に限りなき躍進が約束されたのである。

しかし明るく豊かな住みよい生活都市、登別建設にはいろいろの問題が山積しています。とくに、無秩序に発展する市街地を合理的効果的な住みよい生活都市づくりのため理想的な都市計画の推進、幼児教育施設、文化スポーツ施設、ゴミ焼却施設、公害対策、社会福祉対策など多くの施策を必要としており、近い将来かならず達成するものと確信いたします。



高田市長をのべる予算編成方針

ことしの予算きまる 総額十七億七千万円

第一回定例市議会

第一回定例市議会は、三月八日から十三日まで六日間におわって開かれました。八日は諸報告と土地開発基金条例の設定と四十五年度各会計補正予算を審議、九日は市長の予算編成方針と四十六年度各会計予算および関係議案を説明、十日、十一日は一般質問、十二日、十三日は全員による予算特別委員会と本会議を開いて、前日に説明のありました、今年度の予算と関係議案が審議され、全議案が可決されました。

四十五年度各会計補正予算可決

一般会計は交通信号機設置費と第一来馬橋ボーリング試験の費用土地開発基金積立金など、五千五百四十二万六千円を追加し、歳入



定例市議会風景

歳出予算総額十七億五千九百八十七万七千円となりました。

特別会計では、国民健康保険会計一億二千五百九十八万一千円、学校給食事業会計七千五百四十七万三千円、水道事業会計(収益的収支)一億四千四百二十三万六千円となり、これで四十五年度の一般、特別会計あわせて二十二億二千七百七十二万九千円になりました。

土地開発基金を設置

土地開発基金を設置する議案が可決されました。

これは、土地を公共用かまたは公共の利益のために、あらかじめ取得しておくことによって、事業を円滑に進めることができるもので、この基金への積立限度額は、一億円となります。

固定資産税

○・一引下げる

固定資産税の税率を、今年度も

引下げることが可決されました。これは四十四年度から住民負担軽減のためにおこなってきたもので、昨年度の税率一〇〇分の一・五から、さらに〇・一引下げ四十六年度は一〇〇分の一・四となりました。

国保の助産費

一万円に引上げ

国民健康保険の助産費給付額を現行の二千元から一万円に引上げることが可決されました。

これは国民健康保険の給付の改善をはかったもので、被保険者が四十六年四月一日以降に出生した場合から適用になります。

四十六年度の当初予算

ことしの予算は一般会計十三億五千七百萬元、特別会計の国民健康保険会計一億二千六百五十六万三千円、観光事業会計六千二百四十四万四千円、学校給食事業会計、七千八百二十八万七千円、水道事業会計(収益的収支)一億四千九百七十一万九千円、総額十七億七千三百七十一万三千円が原案と可決されました。

予算の内容については、当初の予算が経常的、義務的なもので骨格予算となっております。そこで歳入歳出の内容は、六月に補正予算がおこなわれる予定ですので、その時期にわたくしお知らせします。

46年度 一般会計歳入歳出予算

歳 入				歳 出			
区 分	46年度	45年度	増 減	区 分	46年度	45年度	増 減
	千円	千円	千円		千円	千円	千円
市 税	4億73,982	4億10,070	63,912	歳 出 合 計	13億57,000	15億03,200	△ 1億46,200
自動車取得税交付金	9,851	9,720	131	歳 費	25,756	16,802	8,954
地方交付税	3億55,000	2億90,000	65,000	歳 費	1億02,006	80,192	21,814
分担金及負担金	6,920	60,103	△ 53,183	歳 費	2億32,218	54,721	1億77,497
使用料及手数料	52,267	49,114	3,153	歳 費	25,689	27,506	△ 1,817
国庫支出金	2億09,329	1億76,734	32,595	歳 費	83,982	74,685	9,297
道支出金	17,393	1億33,992	△ 1億16,599	歳 費	31,220	1億93,441	△ 1億62,221
財産収入	10,925	40,005	△ 29,080	歳 費	81,580	1億08,604	△ 27,024
寄附金	4,000	3,000	1,000	歳 費	19,172	2億08,844	△ 1億89,672
繰入金	1億08,500	97,000	11,500	歳 費	12,894	19,056	△ 6,162
繰越金	500	7,000	△ 6,500	歳 費	1億52,588	2億31,167	△ 78,579
諸収入	92,778	55,495	37,283	歳 費	3,000	0	3,000
市の他の収入	15,000	1億69,400	△ 1億54,400	歳 費	1億38,347	1億19,475	18,872
	555	1,567	△ 1,012	歳 費	4億46,548	3億66,707	79,841
				歳 費	2,000	2,000	0
				歳 出 合 計	13億57,000	15億03,200	△ 1億46,200

教育・水道・衛生に活発な質問

三十日、十一日の二日間、市政について七名の議員から、一般質問があり活発におこなわれました。質問の主な内容はつぎのとおりです。

問 新しい時代に即応した幼児教育のために、希望する人が誰でも入園でき、比較的安い費用で施設の充実した公立幼稚園の建設はできないか。

答 いま国の中央教育審議会ですでに基本構想のなかで、幼稚園教育と就学前教育の充実を目的として、ことし中に答申がでるような見込みとなったので、国の方針にそって今後、市の状況を十分に考慮しながら、この問題と取りくんでいきたい。

問 現在の幌別中学校は老朽化が目立ち、補修費も多々と思われるが、新築か別転の考えはないか。また駕別と幌別の中間にある富岸の学校を移転するような考えもないか。

答 幌中の新築は来年以降において実施するべく、関係機関と協議し検討中であり、学校を分割することも今後、学校規模などの推移をみながら考慮していきたい。また富岸の学校については用地その他の問題点があり、今後とも関係機関、地域住民と

も十分な協議をしながら早期解決に努力していきたい。

問 富岸七、八番地は井戸水を使っているが、保健所の検査では大腸菌が多く飲料水には不適当としている。この地域へ早期に水道施設ができないか。

答 富岸のこの地区は、国道三六号線と鉄道には含まれたところで、戸数は十一戸ほどであるが、この地域の配水管は国道の海側にあるため、現在、住民と協議中であり、近い時期に布設していきたい。また緑ヶ丘団地の水圧低下については一五〇%の管に布設替えをするなど施設の改良をおこなっていきたい。

問 第一来馬橋のかけ替えは、本年着工するのと聞くが、その時期と施工法について聞きたい。

答 この橋のかけ替えについては今年度からの継続事業（二年から三年）としておこなうが、この橋はメタル橋として、その工法を協議中であるが、現在の事

務工程から見て七月頃に着工したいと考えている。

問 登別高校線全部を、アカシヤ団地踏切りから中央通りを經由して、市内の乗り入れはできないか。

答 現在、運行している「輪西一登別高校一」間のバスを住民の便をはかるように、アカシヤ団地踏切りから、自衛隊前、フードセンター前、登別高校と路線の変更を話し合い中であるが、いまの道南バスの状態において、早期の結論を得ることはむずかしいが、目的達成のため努力したい。

問 現在のし尿処理施設は人口の増加にもなつて処理能力が限界にきている。この施設の拡充と、またゴミ処理施設の新社設はできないか。

答 し尿処理は現在ややオーバーペースである。このため休日返上し処理にあたることは、今後ますます増加することは避けがたい。ゴミ処理施設については、現在、埋立方式を取っ

てきているが、経済的、能率的な処理方法が研究改善されているので、市としても十分に検討し、できれば四十八年度において建設に着手したい。

問 市内の若年労働力は年々減少している傾向にある。この流出を防ぐため公害のない産業を誘致し、若年および家内工業の振興をはかる考えはないか。

答 産業の誘致は公害のない企業であることを条件として、産業界に働きかけているが、昨年はカナカ冷蔵機、北海道有機機、北海道コンクリート新工場などの立地をみているが、本州大企業の賃金、福利厚生施設などの格差による若手労働力の流出は否定できない事実である。しかし今後とも公害のない企業誘致に努力していきたい。

問 早い機会に環境基準の制定を進め、関連企業との公害防止協定の締結と公害防止対策委員会を設置する考えはないか。

答 公害対策は非常に複雑多岐であり、国においても環境庁を設け関係法令の整備をおこなったところであるが、市としても、この国の方針によって市議会にはかり、住民、企業、学識経験者など各界の代表者による審議会を設けるなど、公害防止対策を具体的に進める方針である。

問 老人の医療を無料化できないか。また養護老人ホームの建設は必要とすることができないか。

答 医療の無料化については、国

道の制度化のなりゆきをみて、検討していきたい。また養護老人ホームは市自体で考えていないが、道、法人、団体などの新設誘致を促進していきたい。

問 市民の健康を守るため、保健婦の常置が必要と考えられるが。

答 保健婦の業務内容からして、設置の必要性はじゅうぶん考えられるが、現在、道内にいる保健婦の数が足りないため確保することは困難であった。今後さらに設置していくように努力したい。

問 予防接種の全額公費負担はできないか。

答 来年度に予防接種法が改正される見込みで、これが国の負担となる予定であるから、その時点で検討していきたい。

問 市立の図書館と体育館（五千人収容できるもの）の早期建設はできないか。

答 図書館については今年中に建設するよう努力しているが、体育館は、もっかその建設内容などを検討中であり、胆振地方総合開発重点事業として、道に要望している。

問 商工会の商工会議所昇格のメドについて聞きたい。

答 商工会議所の昇格は通産省の行政指導のもとに商工業者が一丸となって準備を進めており、設立のメドは来年の一月を予定している。

あぶない火、消し忘れ・切り忘れ

炭酸素



この煙命を奪う

ことしもまた一年のうちで一番火災の多いシーズンになりました。

北海道では、四月と五月は空気が極端に乾燥するため、小さな火だねからも火災になりやすく、また、春特有の突風のため大火にもなりやすい時期です。

また、長い冬こもりの生活からの解放感や、暖房設備を取りはずす時期とも重なって、とかく火の取り扱いがおろそかになりがちです。

例年、全国の火災件数は増加する一方ですが、市でも昨年の火災発生件数は二十三件で、それによつて五人もの尊い命が失われていきます。

このため市消防本部では、四月二十日から五月十九日までの一ヵ月間「火災から命を守る」を重点目標として火災予防運動を実施します。期間中、消防署員、団員が各家庭を訪問し防火診断や予防相談をおこないます。

火災のない明るい町にするため火災の取り扱いにはじゅうぶん注意することはもちろんですが、最近の火災は、建物の構造や建材、家具などに化学製品を使用しているため、多量の煙を発生します。この煙には一酸化炭素やその他の毒性ガスが含まれていて、これを

吸うと体の自由がきかなくなったり、中毒死にります。昨年、市で五人もの尊い生命が失われていますが、原因は全部がこの一酸化炭素による中毒死となっていました。

このように煙は大変おそろしく速度も予想以上にはやいものです。煙が見えないからといって、あなどることは禁物です。

中小企業の皆さん

資金繰りに年度末金融を

中小企業の皆さんにとって、年度末は資金繰りに大へんと思われ、昨年に引き続いて年度末金融をおこなっています。

この年度末金融は、遊興娯楽などを目的とした業種は除かれますが、その他の中小企業および、中小企業協同組合法にもとづいている組合であります。この融資が受けられますので、申し込み期間内に取り扱っている金融機関か、または、商工会、市観光商工課に申し込みするようにしてください。

○申し込みする期限
四月三十日（金曜日）まで。
○取扱金融機関
北海道拓殖銀行、北海道銀行、北海道相互銀行、北洋相互銀行、室蘭信用金庫、商工信用組合

○融資金額

火災の際、身仕度をしたり、物を持ち出そうとすることは逃げおくれの原因となりますから、そのまますばやく避難するようにしてください。一度避難してから再び建物内に入ることも危険です。すばやく避難ができるようにふだんから、はしごやロープを準備しておくほか、避難の方法も話しあっておきましょう。

資金の使いみちは運転資金に限ります。融資金額は一企業で二〇〇万円以内とします。（ただし、特に必要であると認める場合に限り三〇〇万円以内とします）

組合への融資は五〇〇万円以内とします。（ただし、転貸する場合は、一、〇〇〇万円以内とします。）

○融資期間
六ヵ月以内とします。
○融資利率
各取扱金融機関の利率によりまゝです。
○担保
原則として担保を必要とします。
○信用保証
すべて北海道信用保証協会の保証付とします。

故 深瀬寅次氏に叙勲

故深瀬寅次氏は四十六年二月八日、七十六歳の人生を閉じられました。生前、地方自治につくした功績が多大なものであり、今回その功績がたたえられ、勲六等瑞宝章が贈られました。

大正六年深川村書記補に命じられて以来、三十九年間の地方自治生活を送り、その間、深川町収入役、助役、北村長、雨竜村長として旺盛な使命感と高潔

な判断力によって寒冷地純農村地域の土地改良事業、自作農創設などにつとめ、今日の穀倉地帯の布石をつくりあげたのです。

また、昭和二十六年四月幌別町長に就任、一期四年間を町政発展のため献身し、とくに酪農の振興、住宅事情の緩和、自衛隊の誘致、幌別小学校の焼失後、その再建に献身的な努力を



傾注した結果、当時、全道でもまれにみるレンガ造りの近代的な新校舎を建設したことなど、数々の功績が今日の登別市誕生の基礎となったものです。

「サラリーマンの奥さん」

国民年金にあなたも加入できます

国民年金は、ご主人が年金制度（厚生年金、共済組合など）に入っているから、私は加入しなくてもよいと、だれもが考えがちです。だがチョット考えなおしてみてください。

ご主人が受ける年金だけでは、夫婦二人が老後の生活を送るためには十分とはいえません。

また貯金があるから、退職金があるからといって最近の物価高では、不安がつきまとうことが考

帰ってこないおとうさん

入選 幌別東小一年 くらべ なおみ

おとうさんは、わたしが小さいときに交通事故で死んでしまいました。おとうさんは友だちの車に

えられます。

国民年金では、サラリーマンの奥さんも年金をもらい安心して老後の生活が送れるよう、希望すれば加入できることになっていま

す。つまり、奥さんが保険料を納め、奥さん自身の年金として六十五歳から老齢年金を受け取ることが

できるのです。家を建てること、車やカーテ

レビなどを買うこともさることながら、老後の生活設計も新しい角

度から考えてみてはいかがでしょう。新しい時代の新しい生活様式として国民年金に加入することをおすすめします。

未納保険料

いまなら納められる

国民年金の保険料は、納期限から二年以上過ぎてしまうと納めることができなくなることを知っていますか。

国民年金を受取るためには、一定の期間、保険料を納めていることが条件となっています。保険料を滞納していると、おとしりにな

ったときや不慮の事故などにあつても、一円も年金がもらえなくなる

ことがあります。おかあさんも、おにいさんも、うちのみんながなきました。なん

ほないても、おとうさんは生きてきません。いつでも、おとうさんがいればいいなとおもいます。交通事故を、おこさないようにしてほしいとおもいます。

もっと、交通安全を

べんきょうしたい 入選 幌別東小一年 かもとり しゅうこ

うちの人、全員で車をかりて、くり山にいきました。とちゅうで、わかれみちがありました。ぼくたちはまっすぐにい

った。もうちょっとで乗用車にぶつかりそうだった。おとうさんが「気をつける」となった。「ぶ

しかし国民年金に加入している人が、すべて年金がもらえるようにするため、納期限から二年以上たった保険料も納めることができるよう特別納付の措置が認められております。この特別措置は昭和四十七年六月三十日までしか認められていません。納め忘れの保険料はすぐ納めるようにしてください。

この場合、納める保険料の額は一カ月四五〇円ですが、一度に納めることができないときは分割で納めることもできます。

もう一度、お手もとの国民年金手帳を調べ、納め忘れの保険料があつたときは、市国民年金係で納付書をもらい、郵便局か銀行に払い込むようにしてください。

つからなくてよかった」と車の中でいった。「ほんとうによかった」とみんなでいった。

また、ずうっといったら、信号機があつた。車のすすんでいくほうは青だった。人のあるところ

は赤だった。赤信号なのに、おじいさんがほどうをわたつた。もうちょっとで、おじいさんがひかれそうだった。

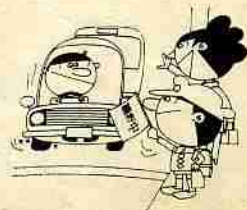
むかしは信号がなかったから、そのおじいさんは信号のみかたがわからなかったかもしれないとおもった。

只今、受付け中

市民交通傷害保険

保険料（掛け金） 480円

1カ月40円であなたを守る



市の人口

2月末現在

総人口	46,675 (196減)
男	23,599 (168減)
女	23,076 (28減)
世帯数	12,956 (52減)

() 内は先月との増減

交通安全啓発作品から

死をまねくどびだし



☆ 入選

幌別東小6年 江ノ上和夫

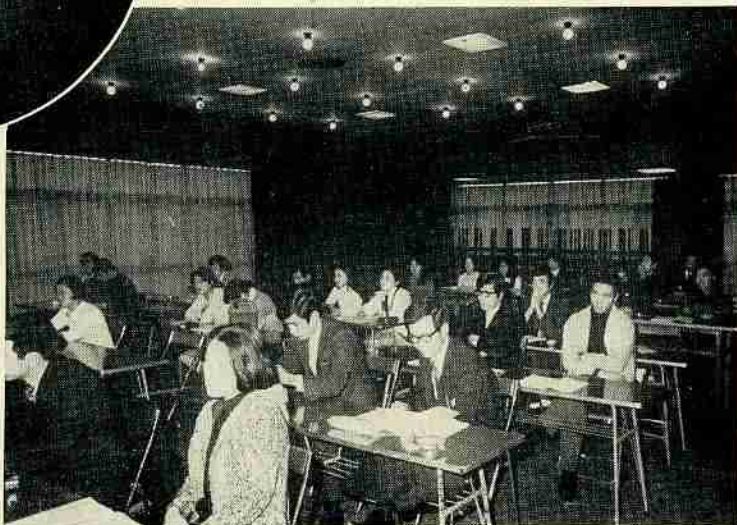
若い心を大事にしたい

カメヲ
ルポ

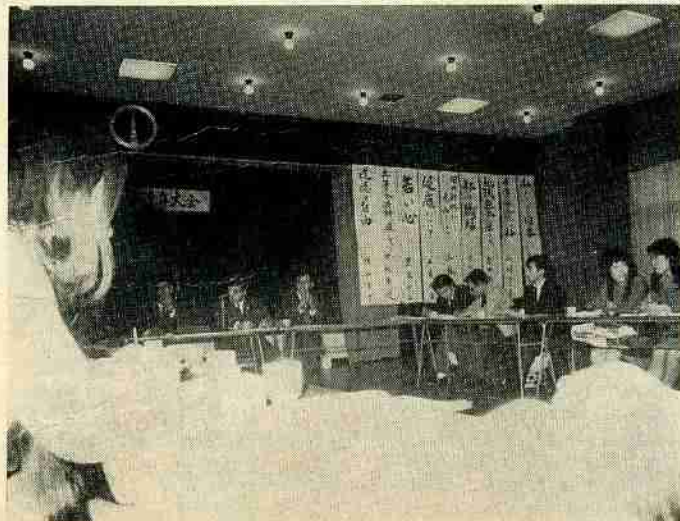
市内の六つの青年団が集っている登青連が主催する青年大会がありました。

この大会は市内の青年が参加し親睦をはかるとともに相互の研修をおこない、若い力を結集し、明日への青年活動のかたとすることを目的としています。

参加者は四〇名ほどでしたが、参加者が少ないことについて主催者側は「ビートル不足というものもありますが、青年団活動そのものを理解してくれていない、若い青年が力を合わせ、市発展の源動力になろう」と呼びかけています。



自分という立場から見た国家は何なのか、地域社会に生きるためにはどうしたらいいのか、このめまぐるしい社会情勢のなかで、生きた道徳とはどういうものなのかなど、九人の青年から自由なテーマの弁論があり、お互いに考えていました。



青年団活動というテーマで討論がおこなわれ、そのなかでとくに青年団活動のマンネリ化と参加者不足をどうしたらよいかを討論の中心となり、今後の青年団活動のあり方を新しい角度から見直そうとしていました。

あなたの募金が大きな力

赤十字募金運動はじまる

ことしも五月一日より三十一日まで、全国いっせいに赤十字の募金運動がはじまります。

毎年、みなさんのご協力をいただいておこなっている、この運動は災害救護、災害義援金、辺地の無料巡回診療、血液センター事業などいろいろな福祉事業をおこなうために、みんなで助け合い、明るく楽しい街にしていこうという運動です。

ことしの市の募金目標額は七十五万で、各地区の委員さんを通じて募金運動にご協力を願うことになりました。

この募金は市の社会福祉活動の

ため大きなはたらきをしていきます。みんなで明るい街づくりのため助け合いの気持ちをもって、赤十字募金運動にご協力ください。

赤十字社員になろう

赤十字社は、人類の幸福と平和の理念のもとに、伝統と輝く歴史にたつて、たゆまぬ前進をしています。

社員とは、社費として年間百円以上を納めるかたで、各町内会長さんを通じて納めていただきます。

社員章を交付

毎年三百円以上の社費を納め、その合計額が三千元以上になった

とき、特別社員として章銀の社員章を交付します。

・毎年一千円以上の社費を納め、その合計額が一万元以上になったとき、金色の社員章を交付します。
・社費または、寄付金が五万円になったとき、章銀の有功章、十万円になったとき、金色の有功章をおくりします。

寄付金

一万円以上五万円未満の金品を寄付したかたに、社長より感謝状をおくりします。

百万円以上の金額を寄付したかたに、紺綬褒章の受彰手続きをします。

税の相談日は

五のつく日

みなさんのご加入をお待ちします。

つまり五日、十五日、二十五日を『税の相談日』として、税金についての質問や疑問にお答えしております。この日が日曜、祝日のときはその翌日になります。

税の相談は、室蘭税務署はもちろんのこと、全国どこの税務署でもできます。また、自分の住所や名前を言わずに自由に相談することができ、いっさい費用はかかりません。

みなさんがいちばん心配なのは税務署で相談すると、税金が高くなるのではないかとお考えのようですが、まったくありません。

この日は、相談や指導を専門に受け持っている税知識、経験の豊富な係長などが、税金に対する苦情や相談に応じてくれます。

また、忙しい方は電話による相談も応じてくれますので、お気軽に相談してください。

(室蘭二局四一五一番)

明和園(登別町)に たくさんのお贈り

昨年、鶯別地区について登別地区にも老人憩の家、明和園が完成しております。

この明和園にみなさんからのあたたかい金品のご寄贈がありましたのでお知らせします。

- 登別老友高砂会賛助員有志二十九名 二十六万円、坂下寛一ラジオ一基、東川房子一千元、ふぎん、半田シズエ、渡部イヨ、菊地マサ一湯吞茶わん、一台、阿部サダノ一湯吞茶わん、四十個、坪島積フヨ一掛時計、一個、半田シズエ一茶道具、五点、鈴木貴美一花器および茶盆、登別婦人会一壁鏡、一面、菊地マサ一菓子器、二点、宮城キエ、坂本トシ、阿部ハツエーポット、一個

お知らせ

免許更新のときの講習は 交通安全協会でおこなう

いままで、免許更新のときの講習を、室蘭自動車学校でおこなっていましたが、今後は道警本部の委託を受けて、登別交通安全協会がおこなうことになりました。

この講習は年6回、5、7、9、11、3月となり、免許有効期限6カ月前に都合のいい月に受けることができます。

- 5月の講習はつぎのとおりです。
・日時 5月28日午後6時～9時まで
・場所 中央公民館 2階ホール
- なお受講者は交通安全協会会員となり、3年間の会費300円を納めていただきます。

市営住宅の 補充入居者募集

6年度、市営住宅の補充入居者を募集します。この募集は、5月1日から来年の3月31日までに市営住宅があった場合、抽選順位にしたがって入居できるものです。

- ・申込期間 4月28日まで
- ・申込資格 市内に住んでいて、同居する家族がある人。
- ・収入証明 45年分の源泉徴収票か、所得証明書を持参してください。(市建築課住宅係)

電話級アマチュア無線技士 養成講習会の開催

昨年、市青少年の電気科学の振興とアマチュア無線愛好者の親睦を目的として、登別オロフレクラブが発足しております。

市民のなかにアマチュア無線技士資格を取りたいかたがいることと思いますので、つぎのとおり講習会を開催します。希望のかたは申し込むようにしてください。

- ・講習日 4月25日～5月7日
- ・時間 平日 18:00～21:15
日曜、祭日 9:00～16:15
- ・場所 中央公民館
- ・受講料 2,800円
- ・受講資格 中学生以上の男女
- ・講師 北川正人、富田 亨
- ・申込先 市内来馬町67-537
登別オロフレクラブ事務局 常盤静夫
または市教育委員会社会教育課

美 挙

- 愛情銀行へ 500円
- 匿名(幌別町)
- 吉田靴店(来馬町) 靴 60足
- 登別青年竹の会 学用品 19点
- 古切手寄託
- 上田商会(幌別町) 3,000枚
- 登別青年竹の会 2,000枚
- 高山みつよ(鶯別町) 2,000枚
- 木村ノブ(幌別町) 600枚
- 市役所 400枚
- 市青年ボランティア連盟 150枚
- 小林美恵子(来馬町) 100枚
- 竹内竜也(来馬町) 100枚